

# 葛川をきれいにする会 -活動実践集- 第18号

令和2年年4月～令和3年3月  
(2020年4月～2021年3月)



2021年3月6日葛川橋

ホームページ <http://kuzugawa.sakura.ne.jp/>

ブログ [http://blog.livedoor.jp/ninomiya259\\_kuzugawa/](http://blog.livedoor.jp/ninomiya259_kuzugawa/)

インスタグラム <https://www.instagram.com/ninomiya259.kuzugawa/>



ホームページ



インスタグラム

葛川をきれいにする会編集委員会



ブログ

## 葛川をきれいにする会活動記録集第18号目次

P	内容	執筆・編集
1	代表に就任して	長田 信夫
2	副代表に就任して	伊藤 仁
3	長谷川芳夫さんを悼んで	藤田 尚志
4	葛川憲章 ・規約	野谷 悦
5	令和元年(2020年)度葛川の清掃記録 *重量等資料提供 町役場環境課*	野谷 悦
6	令和元年(2020年)「葛川をきれいにする会」6月定例会報告書	野谷 悦
9	令和元年(2020年)「葛川をきれいにする会」9月定例会報告書	野谷 悦
12	令和元年(2020年)「葛川をきれいにする会」12月定例会報告書	野谷 悦
15	令和2年(2021年)「葛川をきれいにする会」3月定例会報告書	野谷 悦
18	「葛川をきれいにする会」令和元年(2020年)度活動写真	野谷 悦
20	葛川に親しもう会9/26葛川生き物観察	野谷 悦
23	葛川の底生生物2020	門間 光次
27	ごみ処理施設見学	守田 智恵
29	ホームページを作成して	武田 紗季
33	葛川をきれいにする会・会員名簿	野谷 悦
34	令和3年(2021年)度清掃.総会.定例会等.スケジュール	野谷 悦
35	葛川をきれいにする会.関係先	野谷 悦
36	葛川をきれいにする会への寄付・支援	長田 信夫
37	地図、葛川(二宮町)にかかる「名前の付いた橋」	野谷 悦
38	葛川をきれいにする会の紹介	野谷 悦

## ごあいさつ ～代表に就任して～

代表 長田 信夫



昨年駅伝をみにでかけた折、母校応援の幟を門脇さんがおろしてられるときにお会いしました。少し顔が赤く、例のニコニコされた笑顔を思い出します。あの時から一年、歳月は過ぎるのが速いです。門脇さんが会運営でされていた清掃準備、道具管理、報告や行政との交渉等は同じようにできませんが、この会の活動が継続するように少しでもお手伝いできればと代表を受けさせていただきました。どうぞ宜しくお願いいたします。

葛川沿いを歩いていて見かけた小さな鳥の背中の子の青いラインは、綺麗だな。夜明け間もない葛川に50羽ほどのダイサギが集まっていて早朝会議（多分、集団で日本に渡ってきて、葛川で一休みしていたのでは）。これが葛川との出会いです。それからカメラを持って葛川沿いを歩くことにしました。青いラインの鳥はカワセミと分かり、葛川カワセミマップを作りました。川沿いを歩いてみて気が付いたことは、いろいろな鳥がいることでした。野鳥が住んでいることは、葛川に小魚類が多く生息し豊かな河川であることの証でしょう。もう一つ気が付いたことは、ゴミが多い川だと思いました。地元のTさんに、そのことを話したら「きれいにする会」があるとのこと、さっそく入会しました。5年程前のことです。それから川の清掃、生物調査、底生生物調査と水質調査に参加していますが、シマヨシノボリなどの小魚、エビ、カニやカゲロウの幼虫なども住んでいます。よく見るとみんな可愛い表情をしています。町の中心近くを命溢れる川が流れているところはあまりないですね、枝垂れ桜の向こうには丹沢の山が見られます。それに川からは四季折々の歌声がします（本当、ただ堰のところではしません）。是非、このように豊かな川をいつまでも大切に、町の資源として後世に残していきたいです。

行きつけの理容店の親父さんに伺いましたら、小さい頃は川で遊んだが少し前まではドブ川で異臭がしていたとのことでした。これまで諸先輩や皆さんの気持ちで続いてきた清掃活動が、葛川を綺麗にしてきた要因の一つと思います。

今年度は会が発足して、20年の記念の年でした。コロナの影響で来年度に記念式典は延期としましたが、是非開催し将来にむけて皆さんと決意を新たにしたいと考えています。

## 「葛川をきれいにする会」の副代表に就任して

副代表 伊藤 仁

この度「葛川をきれいにする会」に副代表に就任しました。  
会員の皆様一言ご挨拶を申し上げます。



平成 12 年二宮町松根に居を構えてちょうど 20 年になりましたが私はずっとこの町のことには無関心で暮らして参りましたが。

2 年ほど前、たまたま目にした「葛川をきれいにする会」のチラシでこの活動に参加したことをきっかけに町内の方々と急速に接触が拡大しました。以来「町内空き地の除草」「公園伐採木の処理」「里山の再生」「児童養護施設」と続き、これからは「子ども食堂」の活動にも関与できそうであります。これらを通じこの町にも自分の力を必要としている場面、場所があることに気づかされました。

そのきっかけになったのがまさしくこの「葛川をきれいにする会」であります。私はこの町に目を向けさせてくれたこの会に感謝しております。

この私が副代表という名にふさわしいかどうかは別としてこれからは私がこの会に恩返しする番だと思っています。力が足りませんがよろしくどうぞよろしく願いたします

## 長谷川芳男さんの死を悼んで

長谷川芳男さんは2020年11月17日にお亡くなりになりました。88歳11か月でした。長谷川さんは「葛川をきれいにする会」の初めからの会員であり、「葛川をきれいにする会」から別れて「地域の環境を良くする会」を立ち上げたときに、中心的役割を果たしました。

ここでは長谷川さんが二宮町で、また二宮町以外で、どのような貢献をして来たかを紹介して、追悼文としたいと思います。



2020年2月25日 吾妻山公園にて

長谷川さんは50歳代半ばごろ健康を損ない、二宮町に住んでいる娘さんを頼って療養のために移り住んだと聞いています。健康が回復して来るとリハビリを兼ねて吾妻山に登ることを日課にしていたようです。その時、公園で作業する人たちと言葉を交わすようになり、二宮町から公園管理委託を受けていた美鈴産業で働くことになりました。現在の吾妻山公園を整備する時から造園工として関わっています。

そこで、吾妻山公園のトイレが水洗でなかったので臭いがきつく、「何とかしたい」と考えた時に微生物資材・EMの存在を知り、半信半疑で自費で購入して来てトイレに噴霧したところ、30分ほどで臭いが消え、しかも人体に悪影響はないことを知りました。更に芝生や菜の花など草花や樹木にも効果があると知り、微生物資材・EMを活用して現在の吾妻山公園の基礎を作り上げています。

花菖蒲やハスの花、更には天然ホタルで知られている「せせらぎ公園」の再生にも取り組んでいます。花菖蒲やハスが衰退し、ホタルの飛翔数が激減した時、町から依頼されて「農薬や化学肥料を使わないで微生物資材・EMと落葉堆肥を使って」花菖蒲やハスを復活しホタルの数も増やしています。そして花菖蒲がきれいに咲くようになると、紺の着物に赤い襷にすげの笠の「花柄積み娘」を提案し、好評で多くの行楽客や写真愛好家が押し寄せて来ました。

さらに、EMが汚れた川や池の水質浄化に効果があると知り、葛川水系と梅沢川の水質浄化に取り組みました。きっかけは、葛川水系は「葛川をきれいにする会」に加入した時から、梅沢川は長野県の高山村と二宮町の交流で子供たちが地引網の体験に来るのですが、水質が悪くヘドロ臭がきついので何とか出来ないかと相談を受け、EM活性液を流すことを始めました。この活動は「地域の環境を良くする会」として現在も継続しています。葛川水系も梅沢川もヘドロ臭は消え今では臭いも気になりません。葛川では水質が良くなるとオイカワ、アブラハヤ、ヨシノボリなどの小魚が戻ってきて、小魚を餌とするカワセミ、シラサギやアオサギが飛来するようになりました。また、カニやエビが増えて来て、水質の良い川に棲む水生昆虫も増えています。

二宮町以外で長谷川さんが水質浄化に取り組んだ川や池はそれぞれ良い結果が得られ、管轄する自治体や企業や周辺住民から感謝されています。大磯町の嶋立沢、横須賀市の川間川と津久井川、東京の日本橋川、レイクウッド・ゴルフ場の池などがあります。

長谷川さんは葛川の新田橋のそばに住んでいて、「葛川こそがビオトープそのものだ」が持論で、毎朝新田橋から葛川を見て、水が澄んでいるか、小魚が群れているか、シラサギやアオサギが来ているか、人影を見るとエサを求めて集まってくるコイの群れを見ることを楽しみにしており、水質が良くなって生物多様性が観察され、町民も葛川に親しみを持って来ていることを非常に喜んでいました。また、夕方は橋の欄干を支えにして身体のストレッチや膝の屈伸運動をしていました。(藤田尚志 記)

# 葛川憲章

- 1 葛川を蘇らせるための清掃とあわせて、町民の「川をきれいにする」という意識を育みます。
  - 2 失われつつある葛川の自然環境の復元と水質保全をはかります。
  - 3 「水のある風景」としての葛川を守るために街並みや景観の保全につとめます。
  - 4 誰でもが水遊びのできる、きれいな安全な川としての親水性を考えます。
  - 5 「川は財産」と考え、町民に広く呼びかけて基金を設立し、維持管理など財産をまもるための活動を支えます。
- 

## 葛川をきれいにする会 会則

- 第1条 この会は、葛川をきれいにする会（以下「会」）という。
- 第2条 会は、主として葛川流域の環境の保全を計り、二宮町およびその周辺地域の良好な生活環境の維持・推進に寄与することを目的とする。
- 第3条 連絡事務所は代表宅に置く。
- 第4条 会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる活動を行う。  
(1) 葛川（その支流を含む。以下同じ）清掃・美化、水質改善、水生生物調査、水質調査等  
(2) 葛川の環境保全に関する学習および環境保全意識の普及  
(3) その他会の目的を達成するために必要な活動
- 第5条 会員は正会員・学生会員・賛助会員とし  
会費は年会費・正会員2,000円 賛助会員一口1,000円以上 学生会員は無料とする
- 第6条 役員は 代表・副代表・事務長・会計担当・専門担当若干名 兼任は可能。  
会計監査は2名とする。任期は2年 再任は可能。
- 第7条 活動年度及び会計年度は毎年4月1日より翌年3月末日まで。  
総会は毎年4月第二土曜日に催行。  
定例会は6月・9月・12月・翌年3月第二週に催行（諸案件を検討）  
総会・定例会の議事進行は事務長が行い（代行も可）議決は正会員の過半数で成
- 第8条 (1) 清掃作業は、原則として3月から11月までの第一及び第三土曜日の9時30分からとする。  
(2) 雨天、等の事情で作業を中止することがある。午前8時の気象状況等による降雨確率70%以上は中止。翌日（日曜日好天で増水してないときは清掃作業を行なう）  
(3) 事務長（代行可）は、活動記録を二部作成し、二宮町環境課と神奈川県平塚土木事務所に提出する。
- 第9条 活動を中止（退会等）する時は役員に連絡する。
- 第10条 会則変更は定例会（又は役員会で）検討して総会で承認を得る。

# 葛川の清掃記録(2020年3月1日～2021年3月31日)

葛川をきれいにする会

重量のデータ(二宮町生活環境課)

通算回数	作業日	(集合場所)と清掃区間	参加		ゴミ概略			重量 kg	
	2020年度		人数	内学生 人数	20L袋	小袋	その他		
281	3月7日	(塩海橋)鍛冶屋橋～塩海橋	23	2	23袋/	8袋/	自転車1台 板等廃材多い	60	
282	3月21日	(葛川橋)清水橋～軒吉橋	21	2	8袋/	2袋/	消火器1本	30	
283	4月4日	(下浜橋)塩海橋～町境	21	2	11袋/		空き缶 2/20L ビン 1/20L 有害ごみ 3/20L スマホ 傘	110	
	<del>4月18日</del>	<del>(前田橋)向根橋～前田橋</del>	4/16 「緊急事態宣言」発令 5/25 「解除」						
	<del>5月2日</del>	<del>(前田橋)前田橋～西谷戸橋</del>							
	<del>5月16日</del>	<del>(清水橋)新西谷戸橋～清水橋</del>							
284	6月6日	(葛川橋)清水橋～軒吉橋	22	2	4袋/		空き缶 1/20L ビン 1/20L 有害ごみ 1/20L 家電類1/20L 蛍光灯類1/20L 破砕2/20L その他 金属2袋 自転車1台	45	
285	6月20日	(萬年橋)軒吉橋～大忘寺橋	22	2	6袋/		空き缶 1/20L ビン /20L 有害ごみライター電池 家電類1/20L 蛍光灯類1/20L 破砕2/20L その他 金属2袋 傘 塩ビ管 大1	35	
	<del>7月4日</del>	<del>(新田橋)大忘寺橋～鍛冶屋橋</del>	7/4 7/5 7/11 7/12 雨天のため中止						
286	7月25日	(塩海橋)鍛冶屋橋～塩海橋	19	1	8袋/		空き缶 1/20L ビン /20L 有害ごみライター電池 家電類1/20L 蛍光灯類1/20L 破砕2/20L その他 金属2袋 傘 塩ビ管 大1	35	
287	9月5日	(下浜橋)塩海橋～町境	21	1	10袋/		空き缶 1/20L ビン 1/20L 有害ごみライター電池 家電類1/20L 破砕1/20L その他 金属2袋 傘1本	75	
288	9月19日	(前田橋)向根橋～前田橋	20	1	7袋/		空き缶 1/20L ビン 1/20L 有害ごみ 2/20L 破砕1/20L その他 金属1袋	50	
289	10月3日	(清水橋)西谷戸橋～清水橋	23	1	8袋/		空き缶 1/20L ビン 1/20L 有害ごみ 1/20L 破砕1/20L 家電類1/20L その他 金属1袋	25	
290	10月24日	(葛川橋)清水橋～軒吉橋	23	2	4袋/		空き缶 1/20L 有害ごみ1/20L 破砕1/20L その他 金属1袋	10	
291	11月7日	(萬年橋)軒吉橋～大忘寺橋	23	3	17袋/		空き缶 1/20L ビン 1/20L 有害ごみ 2/20L 破砕1/20L その他 金属1袋	80	
292	11月21日	(新田橋)大忘寺橋～鍛冶屋橋	21	3	13袋/		空き缶 1/20L ビン 1/20L 有害ごみ 2/20L 家電類1/20L 破砕1/20L その他 金属1袋	55	
293	3月6日	(塩海橋)鍛冶屋橋～塩海橋	26	3	9袋/		空き缶 1/20L ビン 1/20L 有害ごみ 0/20L 家電類1/20L 破砕2/20L その他 金属1袋	40	
294	3月20日	(葛川橋)清水橋～軒吉橋	24	2	10袋/		空き缶 1/20L ビン 1/20L 電池4ライター3 家電類1/20L 破砕2/20L その他 金属2袋 金属棒 スプレー缶1	60	

計 620

注 A.Bは「葛川をきれいにする会」の清掃活動としては2019年度

年度		回収総重量
平成16年	2004年	5,421 kg
平成17年	2005年	1,721 kg
平成18年	2006年	2,139 kg
平成19年	2007年	1,225 kg
平成20年	2008年	1,314 kg
平成21年	2009年	974 kg
平成22年	2010年	1,226 kg
平成23年	2011年	1,335 kg

平成24年	2012年	1,435 kg
平成25年	2013年	1,732 kg
平成26年	2014年	1,265 kg
平成27年	2015年	1,145 kg
平成28年	2016年	1,190 kg
平成29年	2017年	895 kg
平成30年	2018年	1,250 kg
令和元年	2019年	895 kg
令和2年	2020年	620 kg

# 葛川清掃報告書

3

日時等	実施日	6月6日(土)	9:30~11:30	天候	曇り
集合場所と清掃区間	葛川橋	軒古橋~葛川橋		葛川橋~清水橋	
参加人数	22人		内学生	2人	
参加者(敬称略)	石井修、伊藤仁、遠藤恒夫、木部又一、塩見勇、露木和子、飛澤洋子、島居仁、名川博久、野谷悦、岳山尚徹、岳山研、原直奈子、細川三男、松崎健、守田智恵、横山喜代志、古川勇、武田紗季、栗山竜一、森田恵、長田信夫				
ごみ集積場所	葛川橋脇				

## 2. 分別ごみの種類・数量

可燃ごみ	4袋 / 20L	家電類	1袋 / 20L
空き缶	1袋 / 20L	蛍光灯類	1袋 / 20L
ビン	1袋 / 20L	破碎	2袋 / 20L
有害ごみ	1袋 / 20L	その他	金属 2袋、自転車 一台

## 3. 作業等写真



作業



作業



川面状況



川面状況

4

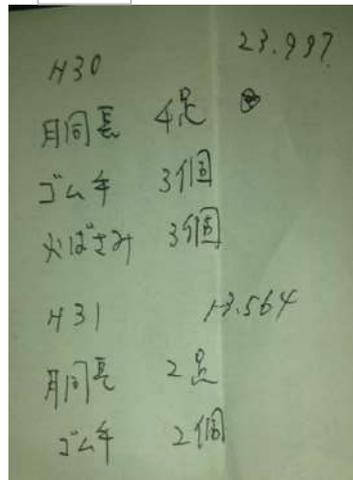


6/6葛川橋上流 洗堀

5



6



町の現物貸与実績

7

胴着在庫		2020/4/6
	胴長	半胴長
1	28cm 新	LL
2	27cm 新	LL
3	26cm	M
4	25cm	L
5	27cm	M

肘まで手袋

町へ要望したもの

3/20水生生物調査 西谷戸橋下流



3/20 ヨシノボリ 西谷戸橋下

8



8

約100円/回

## 葛川清掃報告書

### 1. 日時等

実施日	9月5日(土)	9:30~11:30	天候	晴
集合場所と清掃区間	塩海橋	塩海橋 ~ 鍛冶屋橋		
参加人数	21	人	内学生	1 人
参加者(敬称略)	秋沢久男、石井修、伊藤仁、遠藤恒夫、塩見勇、竹本洋子、飛澤洋子、鳥居仁 奈良淑子、野谷悦、長谷川芳男、畠山尚徹、畠山研、原直奈子、藤田尚志、 細川三男、松崎健、横山喜代志、森田恵、武田紗季、長田信夫			
ごみ集積場所	下浜橋			

### 2. 分別ごみの種類・数量

可燃ごみ	10袋 / 20L	家電類	1袋 / 20L
空き缶	1袋 / 20L	蛍光管類	0袋 / 20L
ビン	1袋 / 20L	破碎	1袋 / 20L
有害ごみ	1袋 / 20L	その他	金属 2袋、傘一本、刃物一丁、金属棒等

### 3. 水質調査(COD) 調査なし

### 4. 作業等写真



作業



作業



作業



収集ゴミ

以上



塩海橋ごみ置き場 これから交



塩海橋ごみ置き場 これから交

# 葛川をきれいにする会12月定例会

日時 2020年12月12日(土)9:30

場所 二宮町民センター2B会議室

## 出席者

伊藤 仁	長田 信夫	木部 又一	塩見 勇	飛澤 洋子	野谷 悦	細川 三男
松崎 健	守田 智恵	吉川 勇	武田 紗季	森田 恵	熊谷 優作	

## I 報告事項

### 1 事務局

9/19	土	前田橋	迎え
9/19	土	バーベキュー	6/15事務局長石川真人さん 800円 2袋⇒1,600円 日曜日に延期はない
9/26	土	イベント「葛川に親しむ会」	(資料5 6 7)
10/3	土	清水橋	迎え
10/12	月	ごみ焼却施設見学	
10/17	土	葛川橋	迎え
11/7	土	万年橋	
11/17	火	長谷川芳男様 逝去	
11/21	土	新田橋	
12/12	土	定例会	

### 2 清掃活動

長田 (資料1 2 3 4)

### 3 水生生物・ 水質調査

守田 武田

### 4 会計報告

細川 (別紙参照)

## II 協議事項

○ 2021年「葛川に親しもう会」の「生き物観察」5/22(土)と8/2(日) (資料5 6 7)

○ 葛川をきれいにする会活動記録集第18号作成について(資料8)

○

## III その他

○ ホームページについての意見(資料9)

○

## IV 当面の予定

1/15	金	町広報「じょうほうかん」締め切り	
1/16	土	新年会	新型コロナ感染予防のため
1/23	木	20周年記念式典	新型コロナ感染予防のため
2月		塩海橋ごみ置き場交渉	
3/6	土	塩海橋	二宮字下川窪402番地の1 原 貴史様
3/13	土	定例会	総会について
3/13	土	土木事務所に報告と契約	
3/21	土	葛川橋	迎え
		会計監査	
3月	3月	8:30 水生生物調査	
2021/12/4	土	20周年記念式典13:00ミーティング1 2	

後援費 ポスター掲示 ビラ作成 17,150+12,000⇒29,190

# 9/19前田橋集合清掃

## 葛川清掃報告書

### 1. 日時等

実施日	9月19日(土)	9:30~11:30	天候	曇
集合場所と清掃区間	前田橋	西谷戸橋~前田橋	前田橋~向根橋	
参加人数	20	人	内学生	1人
参加者(敬称略)	秋沢久男、石井修、伊藤仁、遠藤恒夫、木部又一、塩見男、竹本洋子、飛澤洋子、奈良淑子、野谷悦、畠山尚徹、畠山研、藤田尚志、細川三男、松崎健、守田智恵、横山喜代志、吉川男、武田紗季、長田信夫			
ごみ集積場所	前田橋			

### 2. 分別ごみの種類・数量

可燃ごみ	7袋 / 20L	家電類	0袋 / 20L
空き缶	1袋 / 20L	蛍光灯類	0袋 / 20L
ビン	1袋 / 20L	破碎	1袋 / 20L
有害ごみ	2袋 / 20L	その他	金属 1袋、刃物(ハサミー丁)、金属棒等

3. 水質調査 (COD) 10 mg/L (水温 23.0 °C) ;バックテスト((株) 共立理化学研究所)

### 4. 作業等写真



作業



作業



作業(仕分け)



収集ゴミ

# 10/3清水橋集合清掃

## 葛川清掃報告書

### 1. 日時等

実施日	10月3日(土)	9:30~11:30	天候	晴
集合場所と清掃区間	清水橋	西谷戸橋~清水橋		
参加人数	23	人	内学生	1人
参加者(敬称略)	秋沢久男、石井修、伊藤仁、遠藤恒夫、塩見男、関口純枝、竹本洋子、飛澤洋子、島居仁、奈良淑子、野谷悦、畠山尚徹、畠山研、藤田尚志、細川三男、松崎健、守田智恵、横山喜代志、吉川男、森田恵、武田紗季、関谷忠夫、長田信夫			
ごみ集積場所	清水橋			

### 2. 分別ごみの種類・数量

可燃ごみ	8袋 / 20L	家電類	1袋 / 20L
空き缶	1袋 / 20L	蛍光灯類	0袋 / 20L
ビン	1袋 / 20L	破碎	1袋 / 20L
有害ごみ	1袋 / 20L	その他	金属 1袋、プラスチック箱、金属管等

3. 水質調査 (COD) 12 mg/L (水温 21.0 °C) ;バックテスト((株) 共立理化学研究所)

### 4. 作業等写真



作業



作業(護岸の樹木伐採)



作業(仕分け)



収集ゴミ

# 10/24葛川橋集合清掃

## 葛川清掃報告書

### 1. 日時等

実施日	10月24日(土)	9:30~11:30	天候	晴
集合場所と清掃区間	葛川橋	軒吉橋~葛川橋	葛川橋~清水橋	
参加人数	23	人	内学生	2人
参加者(敬称略)	秋沢久男、石井修、伊藤仁、木部又一、関口純枝、竹本洋子、飛澤洋子、島居仁、名川博久、野谷悦、畠山尚徹、畠山研、原直奈子、細川三男、松崎健、守田智恵、横山喜代志、森田恵、武田紗季、熊谷優作、高橋哲也、山田里花、長田信夫			
ごみ集積場所	葛川橋			

### 2. 分別ごみの種類・数量

可燃ごみ	4袋 / 20L	家電類	0袋 / 20L
空き缶	1袋 / 20L	蛍光管類	0袋 / 20L
ビン	0袋 / 20L	破碎	1袋 / 20L
有害ごみ	1袋 / 20L	その他	金属 1袋、布袋片(通称:トン袋)

### 3. 水質調査(COD) 13 mg/L (水温 17.0 °C);バックテスト((株) 共立理化学研究所)

### 4. 作業等写真



作業(トン袋の切断)



作業(護岸の樹木伐採)



作業(仕分け)



収集ゴミ

# 11/7万年橋集合清掃

## 葛川清掃報告書

### 1. 日時等

実施日	11月7日(土)	9:30~11:30	天候	曇
集合場所と清掃区間	万年橋	大応寺橋~万年橋	万年橋~軒吉橋	
参加人数	23	人	内学生	3人
参加者(敬称略)	秋沢久男、石井修、伊藤仁、塩見勇、関口純枝、飛澤洋子、名川博久、奈良淑子、野谷悦、畠山尚徹、畠山研、原直奈子、藤田尚志、細川三男、横山喜代志、吉川勇、山田里花、大津右京、森田恵、武田紗季、熊谷優作、関谷忠夫、長田信夫			
ごみ集積場所	万年橋			

### 2. 分別ごみの種類・数量

可燃ごみ	17袋 / 20L	家電類	0袋 / 20L
空き缶	1袋 / 20L	蛍光管類	0袋 / 20L
ビン	1袋 / 20L	破碎	2袋 / 20L
有害ごみ	2袋 / 20L	その他	金属 2袋、発泡スチロール箱、ハサミー丁、傘2本。

### 3. 水質調査(COD) 1 mg/L (水温 19.0 °C、測定時刻 9:25);バックテスト((株) 共立理化学研究所)

### 4. 作業等写真



作業(ごみ収集)



作業(収集ゴミ回収)



作業(仕分け)



収集ゴミ

# 11/21 新田橋集合清掃

## 葛川清掃報告書

### 1. 日時等

実施日	11月21日(土)		9:30~11:30		天候	晴
集合場所と清掃区間	新田橋	鍛冶屋橋~新田橋	新田橋~内輪橋	新田橋~大忘寺橋		
参加人数	21		人	内学生	3	人
参加者(敬称略)	石井修、伊藤仁、遠藤恒夫、木部又一、塩見男、関口純枝、飛澤洋子、鳥居仁、野谷悦、畠山尚徹、畠山研、藤田尚志、細川三男、松崎健、守田智恵、横山喜代志、古川勇、大津右京、武田紗季、熊谷優作、長田信夫					
ごみ集積場所	新田橋					

### 2. 分別ごみの種類・数量

可燃ごみ	13袋 / 20L	家電類	1袋 / 20L	
空き缶	1袋 / 20L	蛍光管類	0袋 / 20L	
ビン	1袋 / 20L	破碎	1袋 / 20L	
有害ごみ	電池、ライター各1袋	その他	傘5本、缶大1個、スプレー缶1個、金属パイプ塩ビ管他	

### 3. 水質調査 (COD) 5mg/L (水温 18.0 °C、測定時刻 9:00) ;バクテテスト((株) 共立理化学研究所)

### 4. 作業等写真



作業(ごみ収集)



作業(ゴミ収集)



作業(仕分け)



収集ゴミ

## 9/16「生き物観察」の講師



左の人が 梶一成 さん



手前の方が 門間光次 さん



井澤龍信さん



左の帽子をかぶっている人が小室喜雄さん

# 葛川をきれいにする会3月定例会役員会

日時 2021年3月13日(土)9:30

場所 二宮町民センター3Bクラブ室

## 出席者

長田 伊藤 細川 守田 武田 野谷 塩海 飛澤 吉川

## I 報告事項

### 1 事務局

1/15	金	町広報「じょうほうかん」締め切り	
1/16	土	新年会	新型コロナ感染予防のため
1/23	土	20周年記念式典	新型コロナ感染予防のため
2月		塩海橋ごみ置き場交渉	二宮字下川窪403番地の27 原 貴史様0463-71-148
2/14	日	エコフェスタ打ち合わせ	
2/23	火	「にのみや山と水のシンポジウム」	環境団体 もりびとNOA 子どもリポーター
2/24	水	2/28 3/28配布分 新聞ピラ印刷	2/28武田案
3/6	土	塩海橋-葛川橋	葛川橋下流深い場所 対応
3/13	土	定例会—役員会	

- 2 清掃活動 裏面参照  
 3 水質調査 実施できず  
 4 会計報告 別紙参照

## II 協議事項

○ 総会について 4/10土 二宮町民センター2Bクラブ室9:30(野 案内 会費(細川) 中心議題 レジメ

◎ 20周年記念行事について(森田先生欠席のため後日) 意味 1 会員のモチベーション向上 2 関係者との信頼関係の構築 3 会の認知度向上 4 今後の指針(野谷)

## III その他

- 葛川をきれいにする会活動記録集第18号作成について(日程)(野谷)  
 ○ 社会貢献活動概論(長田)6月水曜日 講師料?辞退  
 ○ 5/14 15 土日 エコフェスタ 展示(守田)  
 ○ ホームページについて(武田)

## IV 当面の予定

3/20	土	葛川橋 塩海橋	二宮字下川窪403番地の27 原 貴史様0463-71-1482
	<input type="checkbox"/>	土木事務所に報告と契約(長田)	
	<input type="checkbox"/>	会計監査(細川)	監査(鳥居 仁 )(吉川 勇)
	<input type="checkbox"/>	ボランティア保険手続き(社協)(細川)	1ボランティア団体登録申請書(様式第1号)2会員名簿 3年度終了後活動報告書4ボランティア活動保険加入加入申込書 5加入者名簿 6加入保険料(細川)
	<input type="checkbox"/>	地域美化清掃実施協議書(町役場)	(長田)
	<input type="checkbox"/>	活動記録集の作成	日程(野谷)
	<input type="checkbox"/>	9/18土 バーベキュー予約(伊藤)	ふるさと炭焼き会事務局長石川真人08012337601 800円 2袋⇒1,600円 日曜日に延期はない
	◎	20周年記念行事について話し合い	森田先生(野谷)
3/25	木	8:30 水生生物調査	門間 藤田(車) 長田 守田 森田 武田 熊谷 野
4/3	土	(下浜橋) 塩海橋～町境(長田)	下浜橋フェンス鍵 「にのみや山と水のシンポジウム」子どもリポーター10名 西山 村田 柏木 池田 田原兄 田原妹 井上 石井兄 石井弟 丸山(長田)
4/10	土	総会(野谷)	二宮町民センター2Bクラブ室
	<input type="checkbox"/>	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン手続き(長田)	(活動内容報告書 団体登録申込書 団体登録承諾書)5/31まで 本当は2/10頃まで?

# 3/6葛川橋集合清掃

## 葛川清掃報告書

### 1. 日時等

実施日	3月6日(土)	9:30~11:30	天候	曇
集合場所と清掃区間	葛川橋	軒古橋~葛川橋	葛川橋~清水橋	
参加人数	26	人	内学生	3人
参加者(敬称略)	秋沢久男、石井悠、伊藤仁、遠藤恒夫、塩見勇、関口純枝、竹本洋子、飛澤洋子、島田仁、奈良敦子、野谷悦、島山尚繁、島山研、原直奈子、細川三男、松崎健、守田智恵、横山真代志、吉川勇、武田紗季、栗山竜一、熊谷優作、山田黒花、関谷忠夫、藤辺真紀子、長田信夫			
ごみ集積場所	葛川橋			

### 2. 分別ごみの種類・数量

可燃ごみ	9袋 / 20L	家電類	1袋 / 20L
空き缶	1袋 / 20L	蛍光管類	0袋 / 20L
ビン	1袋 / 20L	破砕	2袋 / 20L
有害ごみ	0袋 / 20L	その他	金属 1袋/20L、ボット1個

3. 水質調査 (COD) 5.0 mg/L (水温 15.0 °C、測定時刻 9:34) (バックテスト(株) 奈良理化学研究所)

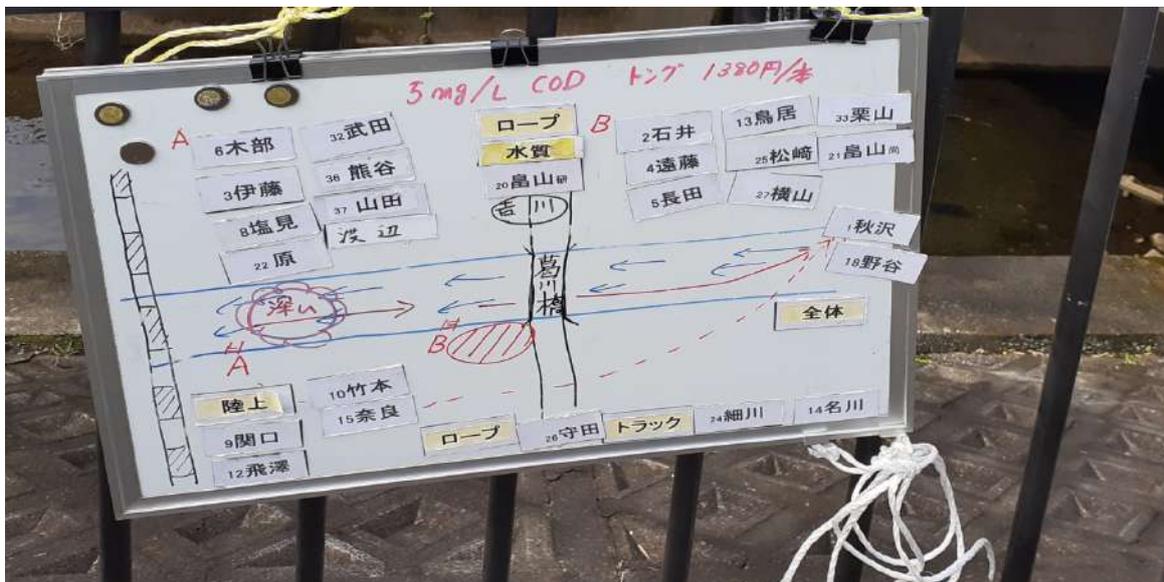
### 4. 作業等写真



作業(ごみ収集)



作業(ごみ収集)



葛川橋下流深い場所 対応

第16回 「エコフェスタにのみや2021」

# 葛川に親しもう会

日時: **5月22日(土)**  
延期の時は翌日23日(日)

1回目 8:30受付～10:10  
2回目 10:30受付～12:10

詳細は裏面

「生き物観察」は8月にも実施  
申し込みは後日案内

日時: **8月1日(日)**  
延期の時は翌日2日(月)  
1回目 8:30受付～10:10  
2回目 10:30受付～12:10



## 生き物観察



(小5) 先生などにやり方を教えてもらって楽しかったです。また来たいです。川をきれいにしてほしいと思いました

(保護者) ザリガニ、モクスガニを見つけました。とても楽しかったです。来年も来ます。楽しかったです。自然を守ることの大切さも教えて頂きました。ありがとうございました

(2020年の感想より)



## カヌー体験



(小4) 意外と難しい。でもとても楽しかった。

(保護者) とても楽しそうでした。思い通りにいかないのが良い。どんどん上流で一人で乗れるようになったら良いと思いました。川もきれいで次の川遊びが楽しみです。

(2020年の感想より)

# 「葛川をきれいにする会」活動写真 NO1

新型コロナウイルス感染拡大のため 中止や延期にした清掃や行事

4/11(土) 総会中止

4/18(土) 前田橋 5/3(土)前田 橋5/16(土)清水橋 清掃中止

1/16(土) 新年会中止

1/23(土) 20周年記念事業 延期

水質検査は環境科学センターが使えず通年で中止



20200404下浜橋



20200404下浜橋



20200606(土)葛川橋



20200620万年橋



20200620万年橋



20200725塩海橋



20200725塩海橋



20200905下浜橋



20200905下浜橋



20200919前田橋



20200919前田橋



# 「葛川をきれいにする会」活動写真 NO2



20200926葛川に親しもう会



20201003清水橋



20201003清水橋



20201012ごみ処理施設見学



20201012ごみ処理施設見学



20201024葛川橋



20201024葛川橋



20201107万年橋



20201107万年橋



20201121新田橋



20210306葛川橋



20210306葛川橋



20210320塩海橋



20210320塩海橋



20210327底生生物調査



生き物観察



葛川に親しもう会

第15回エコフェスタにのみや2020



9/26(土)

※荒天の場合は27日に順延

【1回目】 9:00~10:10(受付8:30から)

【2回目】 11:00~12:10(受付10:30から)

ところ 葛川「清水橋」付近 (☞詳細は裏面)



カヌー体験

# 二宮町ホームページより

「たのしかったね！」葛川に親しもう会



イベントにご参加いただきありがとうございました(^O^)/

町の豊かな自然の一つとなる葛川。

9月26日(土曜日)、その葛川(一色・百合が丘地区)で「生き物観察」と「カヌー体験」を開催しました。当日は、小雨が降るなかでのイベントとなりましたが、そんな天候にも負けない子どもたちの活気とパワーがイベントを盛り上げてくれました。

生き物観察やカヌー体験の先生から教わる体験型教室をとおして、新たな魅力を発見したお子さんもいらっしゃったのではないのでしょうか。

葛川は、下水道整備や環境団体の方々による清掃活動等によってきれいになり、このような体験型イベントができる貴重な場所となっています。

地域の大人たちに支えられながら豊かな自然とふれあえたことで、参加した子どもたちが「自然に優しい」大人へと成長していつてくれることを願うばかりです。イベントにご参加いただきありがとうございました(^O^)/

おっ、シマドジョウがとれてるね!



まっすぐに進めないよー。難しい...



——アブラハヤ、ヨシノボリ、シマドジョウ、モクズガニ、ヒラテテナガエビ、アメリカザリガニ、ヤゴ など

# 参加してくれた子どもと保護者の感想

## 生き物観察

(子ども)

楽しかったので、また参加したいと思いました。ヤゴや魚など、思ったよりたくさんいてビックリしました。

先生に魚のとり方を教えてもらえて楽しかったです。また参加したいです。川をきれいにできれば良いと思いました。

楽しかったです!友達と生き物をとれてよかったです。とても面白かった。ヨシノボリがとれました! など

(保護者)

シマドジョウやハヤがとれて楽しかったそうです。また来年もお願いします。

たくさん生き物がいて親も驚きました。子どもも楽しそうでした。来年も参加したいそうです。ありがとうございます。

ヤゴを初めて見ました。たくさん生き物がいることに驚きました。

ザリガニ、モクズガニを見つけました。とても楽しかったです。来年も参加します。

楽しかったです。自然を守ることの大切さも教えて頂きました。ありがとうございます。楽しかったです。次の機会には親も水に入りたいと思います! など

## カヌー体験

(子ども)

虫取りもカヌーもどちらも楽しかったです。

こぐのが難しかったけれど、とても楽しかった。意外と難しい。でも、とても楽しかった。

とても楽しかった。どうしてかというところ、最初難しかったけれど、どんどん出来るようになってきたからです。

やっているるとどんどんコントロールができてきて、とても楽しかったです。

すごく楽しかった。こぐのが楽しかった。葛川がきれいだった。気持ちよかった。難しかったけれど、だんだん慣れてきて楽しくなった。 など

(保護者)

とても楽しそうでした。思い通りにいかないのが良い。どんどん上達して一人で乗れるようになったら良い と思いました。川もきれいで次の川遊びが楽しみです。

雨が残念でしたが楽しかったです。

思うように進まず難しかったようですが、楽しかったようで、「またあったら参加したい」と言っています。こんな身近な川でカヌーを体験することができて、とても良い経験でした。たくさんの方の協力があってむこそ成り立っていたのだ、と思います。いつもは上から眺めている葛川も水面から見ると全然違う景色に見えたと思います。

普段体験できないことをやらせて頂き、とても楽しそうにしていました。天候が残念でしたがまた機会があれば、ぜひ参加させていただきたいと思います。 など

## 葛川の底生動物 2020

2021年4月 10日  
葛川をきれいにする会

### はじめに

川の中には様々な生き物が居ます。中でも底生動物といわれる一群は、ミミズやヒルにエビやカニ、貝などのほか多くの水生昆虫が含まれます。そうした生き物の種類や生息数を調べることで、ある程度の水質がわかるとされています（野崎 2012）。そこで私たちは葛川の水質を調べる一環として、2015年から葛川に生息する底生動物の調査を行なってきました。

この報告書は、2020年3月20日に会員有志で行なった調査結果です。採取地点の詳細は表-1にまとめました。採取はD型フレームネット（目合い1mm）で行ない、目視で確認出来たものを70%エタノールで固定し持ち帰り、顕微鏡を用いて門間が同定しました。同定標本は写真撮影し、可能な限りエタノール液浸標本、またはプレパラート保存しました。

### 調査地点の概況

#### St.1 新田橋下流

両岸はコンクリート護岸で底質はこぶし程度の礫が多い。川幅は広く流れは緩やかで堆積した土砂に草などの植物が生えている。

#### St.2 新西谷戸橋下流

両岸はコンクリート護岸だが、堆積した砂泥や礫が河岸を覆い植物も多い。下流部に堰があり湛水域がある。上流部は早瀬もあり多様な環境がある。

#### St.3 田端橋下流

両岸はコンクリート護岸だが、堆積した砂泥や礫が河岸を覆い植物も多い。流れが急な早瀬と湛水域が連続し、多様な環境が保たれている。

### 結果

今回の調査で、三岐腸目 1種、ミミズ綱 1種、ヒル綱 1種、ワラジムシ目 1種、エビ目 3種、カゲロウ目 7種、トンボ目 4種、カメムシ目 2種、ヘビトンボ目 1種、トビケラ目 5種、ハエ目 28種の計 11目、24科、54種の底生動物が確認されました。確認された底生動物の詳細は表-2に記しました。

参加者 長谷川・野谷・藤田・飛澤・長田・守田・武田・門間

長谷川さんの突然の訃報に驚きました。当日はお元気そうでしたのに残念です。

表-1 採取地点データ

地点	河川名	採取地点	採取日	採取時間	気温	水温
St.1	葛川本川	新田橋下流	2020年3月20日	08:00~09:30	16.0℃	13.8℃
St.2	葛川本川	新西谷戸橋下流	2020年3月20日	09:45~10:45	16.1℃	14.5℃
St.3	葛川本川	田端橋下流	2020年3月20日	11:00~12:00	18.3℃	16.8℃

表-2 確認種リスト(種順は「生物リスト平成 30 年版」に従った)

○は地点別確認種

和名	学名	○は地点別確認種			スコア 値
		St. 1	St. 2	St. 3	
ウズムシ目(三岐腸目)	Tricladida		○	○	なし
ミズミズ綱(エラミズ以外)	Oligochaeta	○	○	○	4
ヒル綱	Hirudinea	○	○		2
ミズムシ科(甲)	Asellidae	○	○	○	2
カワリヌマエビ属	<i>Neocaridina</i> sp	○			なし
ヒラテテナガエビ	<i>Macrobrachium japonicum</i>	○	○		なし
サワガニ	<i>Geothelphusa dehaani</i>			○	8
ヒメシロカゲロウ属	<i>Caenis</i> sp.		○	○	8
アカマダラカゲロウ	<i>Teleganopsis punctisetae</i>		○	○	8
エラブタマダラカゲロウ	<i>Torleya japonica</i>	○			
フタモンコカゲロウ	<i>Baetis taiwanensis</i>			○	6
シロハラコカゲロウ	<i>Baetis thermicus</i>	○	○	○	
ウスイロフトヒゲコカゲロウ	<i>Labiobaetis atrebatinus orientalis</i>	○	○	○	
ウデマガリコカゲロウ	<i>Tenuibaetis flexifemora</i>	○	○		
ハグロトンボ	<i>Atrocalopteryx atrata</i>	○			6
ダビドサナエ属	<i>Davidius</i> sp		○	○	7
オナガサナエ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	○	○	○	
コオニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>		○		
アメンボ(成虫)	<i>Aquarius paludum paludum</i>	○		○	なし
コセアカアメンボ(成虫)	<i>Gerris gracilicornis</i>	○			
ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	○	○	○	9
コガタシマトビケラ属	<i>Cheumatopsyche</i> sp	○	○		7
ナミコガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche infascia</i>			○	
サトコガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche tanidai</i>			○	
シマトビケラ属	<i>Hydropsyche</i> sp		○	○	
ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>			○	9
ヤマトビケラ属	<i>Glossosoma</i> sp.			○	9
ウスバガガンボ属	<i>Antocha</i> sp		○	○	8
ガガンボ属	<i>Tipula</i> sp		○		
チョウバエ科	Psychodidae		○	○	1
ヌカカ科	Ceratopogonidae		○	○	7
ケブカエリユスリカ属	<i>Brillia</i> sp.		○		6
ユスリカ属	<i>Chironomus</i> sp	○	○	○	2
エダヒゲユスリカ属	<i>Cladotanytarsus</i> sp			○	6

ホソミユスリカ属	<i>Dicrotendipes</i> sp.			○	6	
テンマクエリユスリカ属	<i>Eukiefferiella</i> sp.	○	○	○		
ケバネエリユスリカ属	<i>Metriocnemus</i> sp			○		
ナガスネユスリカ属	<i>Micropsectra</i> sp.			○		
コガタエリユスリカ属	<i>Nanocladius</i> sp.	○				
フトオヒゲユスリカ属	<i>Neozavrelia</i> sp.			○		
エリユスリカ属	<i>Orthocladius</i> sp	○	○	○		
ニセケバネエリユスリカ属	<i>Parametriocnemus</i> sp	○	○	○		
ケナガケバネエリユスリカ属	<i>Paraphaenocladius</i> sp.		○			
カワリユスリカ属	<i>Paratendipes</i> sp		○	○		
ハモンユスリカ属	<i>Polypedilum</i> sp	○	○	○		
カモヤマユスリカ	<i>Potthastia longimanus</i>			○		
ナガレツヤユスリカ属	<i>Rheocricotopus</i> sp	○	○	○		
ウスギヌヒメユスリカ属	<i>Rheopelopia</i> sp	○	○	○		
ヒゲユスリカ属	<i>Tanytarsus</i> sp		○	○		
ヌカユスリカ属	<i>Thienemanniella</i> sp.		○	○		
ニセテンマクエリユスリカ属	<i>Tvetenia</i> sp	○	○	○		
トゲツメヒゲユスリカ属	<i>Virgatanytarsus</i> sp.			○		
ヤマトヒメユスリカ族	<i>Pentaneurini</i> sp			○		
マダラホソカ	<i>Dixa longistyla</i>		○			なし
アシマダラブユ属	<i>Simulium</i> sp	○	○	○	7	
確認種合計	54 種	地点別確認種数	25	35	41	
		地点別平均スコア値	5.50	5.53	6.29	

## おわりに

今回の調査に参加された皆様に感謝いたします。春とはいえまだ寒い中、川へ入り生物を採取するのは大変ですが、今後の調査にもご協力をお願いいたします。

2019年度の調査結果と大きく違っているのは平均スコア値が下がっている事と、確認された「目」と「科」が減ったことです。

スコア値の減少は2019年までサンカクアタマウズムシ科としてスコア値7としていたウズムシ目を、今回からスコア値なしとしたことが大きいと思います。葛川で採取されるウズムシは外来



種のサンカクアタマウズムシ科です。在来種のサンカクアタ

底生動物調査の指導者 門間 光次さん

マウズムシ科と区別し、外来種はカウントしないと指摘を受けたため、今回からスコア値を外しました。もう一点はチョウバエ科の確認があったため、スコア値1が大きく影響したと思われます。

「目」や「科」が減ったのは、たまたま確認できなかったとも考えられますが、9月に行った「葛川に親しもう会」の結果を見ると調査法の問題もあるかもしれません。そこで2021年の調査は、1か所1日の原則で行ないたいと思います。日程などは後日連絡しますので、可能な方は是非ご参加ください。

また、現在は門間が同定分析を行っていますが、興味がある方はいらっしゃいませんか。会の中で同定が行えるよう後継者を育成しなければと思うこの頃です。よろしくお願ひします。

## 引用・参考文献

環境省(2017)水生生物による水質評価法マニュアルー日本版平均スコア法ー

<<http://www.env.go.jp/water/mizukankyo/hyokahomanual.pdf>>2019年3月15日参照

国土交通省(2018)河川水辺の国勢調査のための生物リストー平成30年生物リスト

<<http://mizukoku.nilim.go.jp/ksnkankyo/mizukokuweb/system/seibutsuList.htm>>2019年10月18日参照

野崎隆夫(2012)大型底生動物を用いた河川環境評価ー日本版平均スコア法の再検討と展開. 水環境学会誌, 35(4):118-121.

丸山博紀・高井幹夫(2000)原色川虫図鑑. 244 pp. 全国農村教育協会, 東京.

川合禎次・谷田一三 共編(2005)日本産水生昆虫 科・属・種への検索. 1342 pp. 東海大学出版会, 東京.

川合禎次・谷田一三 共編(2018)日本産水生昆虫 科・属・種への検索 第二版. 1661pp. 東海大学出版部, 神奈川.

石綿進一・齋藤和久 編(2006)酒匂川水系の水生動物. 90 pp. 神奈川県環境科学センター, 神奈川.

川勝正治(2002)プラナリア原色図説. <[http://www2u.biglobe.ne.jp/~gen-yu/plaj\\_list.html](http://www2u.biglobe.ne.jp/~gen-yu/plaj_list.html)>2019年9月20日参照

富川光・森野浩(2012)日本産淡水ヨコエビの分類と見分け方. タクサ, 32:39-51.

林健一(2007)日本産エビ類の分類と生態Ⅱ. コエビ下目(1)167pp.. 生物研究社, 東京.

井上清・宮武頼夫(2005)トンボの調べ方. 339 pp. 文教出版, 東京.

近藤繁生・平林公男・岩熊敏夫・上野隆平 共編(2001)ユスリカの世界. 306 pp. 培風館, 東京.

林成多(2007)島根県水生甲虫類の分布と生態. ホシザキグリーン財団研究報告, 10:77-113.

吉富博之(2014)甲虫の幼虫図鑑ー水生甲虫類(9)カブトムシ亜目(ヒメドロムシ科・ドロムシ科). 昆虫と自然, 49(9):26-29.

## ゴミ処理施設見学の報告

2020年10月12日(月)に施設7か所を見学しました。施設の様子や感想を参加者から集め、語尾など一部略、列記したものを報告とします。参加者：石井、伊藤、長田、飛澤、奈良、野谷、細川、森田、守田

見学施設	感想、など
桜美園 ゴミ持込み受付 し尿下水道投入 (ビン、家電、破砕 ごみの積み替えも、 との事)	ビン、家電、破砕ゴミが桜美園なら、なぜ同じ日に収集できないのか？物があふれている日本、反省させられる。元は畑だったのかな、池まであって。皆さん良くやっていると仕事している人達に感謝したくなりました。まあ雑然としていましたが。設備が古いのは仕方ないが、それでも全体的に不潔な感じがする。平塚のごみ処理施設や業者に渡す前に、ごみ処理の仕事をマンパワーで作業が行われていた。積み上げられた畳からにじみ出るその人の生活感が重く感じられた。奈良さんの「最初からゴミではなかった。ご苦労様でした」という言葉が思い出された。破砕する作業者の安全対策（ゴーグル等無いこと）が心配になった。
積替施設 可燃ごみの積み替え (収集車から大型コ ンテナへ。大型トレ ーラーに積み、環境 事業センターへ)	可燃ゴミの水分を抜いて1日2~3回運搬。草、落葉、細かい剪定枝も可燃ゴミと一緒に回収。袋を別々にする必要がないのでは？腐葉土を作って商品化できないのかな～！環境のため。広い建物でしたね。こっちはきれいでした。唯、場所見ただけなので、普段どんな状態か分からないですね。設備が新しいので清潔だった。10月という季節だったので臭いもなく清潔な環境の中で積み替え。ゴミからの廃液と設備洗浄のため排水は処理後、田代川へ流す。その場所を確認したい。
ウッドチップ センター 平塚・大磯・二宮の 剪定枝を破砕。 燃料用と堆肥用原料 に分けて、利用者 へ	広い工場内、片側1/4位に機械設置。剪定枝もチップも少なかった。1日12トンの処理能力あり。稼働率はどうか。腐葉土つukれないかな。枝粉碎してるのを見て、枝出すのはあまり無いが、きちんと出したいと思った。処分する剪定枝が少ないように感じた。利用者(町民)が搬入することができたらいいと思う。現在太さ30cm長さ80cmの規制がかかっている。現場を見てわかった。しかし庭木の太いものはどこへ出したらいいのか、困っている。実際に出る植木と処理施設のミスマッチ。業者への運搬エネルギーが気になり、地産地消を希望。
最終処理場 (場外から) 不燃物の埋め立て	遠藤原が全部埋め立てられたら、防災公園として利用しても良いですね(厚木市に存在)。堀で囲われてるのが、びっくり。これから森にするのかな、どうするか知りたい。EM散布してみたい。広大な埋め立て地だが、将来、満杯になったら…。処分場を外から見えなくしているのは近隣の住民に不安感を与えるのでは。ここがいっぱいになったら最終処分場を二宮で引き受ける約束になっているというが、さて困った。思ったより静かな緑地で驚いた。事前予約すれば中も見れるようなので、次回行きましょう。処理内容を詳しく知りたい。
環境事業セン ター ゴミ焼却。 余熱による発電、供 給。 灰や有害金属のリサ イクル。	可燃ゴミの処理、平塚のゴミ袋は透明・半透明で可。なぜ有料化しないのか。税金が豊富？でもそれって環境に配慮してないよね。意外でした。ここはすごいですね。燃えている所を見たかった。処分場は近代的な設備だと思うが焼却機の排気中のデータなどもう少し知りたかった。数mもあるバケツでゴミをつかんで焼却炉へ。こんなに大量のゴミが出ているのかということを実感した。海外に輸出されているごみは事業ごみを中心とのこと。とすると事業ごみへの規制の必要性を改めて感じました。紙類が目立っていたが、資源で出して欲しいとの事。

<p>リサイクルプラザくるりん 缶・ビン・ペットボトル・プラ容器包装の中間処理。</p>	<p>缶は潰さなくて洗浄して出すこと。タバコの吸い殻入りなど以外の外です。選別に作業員配置。綺麗に洗っているが、捨てる缶とか気になった。捨てる人、ちょっと憎くなりそう。人手で処理しているのがちょっとびっくりした。缶は潰さないでペットボトルは潰して出す。そのことがよくわかった。(川から拾った) 缶の中の泥は取って、との事。カチコチの泥取りに缶切りを準備するようになった。</p>
<p>粗大ごみ破碎センター 焼却前の破碎。埋め立て前の破碎。鉄・アルミなどのリサイクル。 ゴミの持ち込み受付。</p>	<p>大きなベッド、マットレスが目立った。日本の家屋は狭いので、畳に布団でよいではないか。そういう私は折り畳みベッド使用。きちんと処理されていて、日本人で良いなあと。ちょっと嬉しかった。破碎前の作業が大変手間がかかるようだった。使用できる家具等は破碎、焼却してしまうのはどうなのか？ほしい人にあげるとか。平塚の粗大ごみは直接持ち込みだが、二宮は平塚の粗大ごみ破碎センターに行く前に桜美園で予め破碎していた。マットレスのコイルが顧客ニーズに合わせて複雑化するほど回収が困難になるという現状に、やはりサプライ側の企業が自主回収するなどの規制の必要性を感じました。3Rを応援、実践したい。</p>

### 全体を通して

・商品の種類の多いこと、過剰生産、過剰包装、そして破棄される食料品の多さ（食品ロス）。世界の中でも日本は異常な程では？政府は財界（生産者）に対してもっと厳しく規制して欲しい。個人でのゴミ拾い、缶・ペットボトルが多い。ペットボトルは洗浄してリサイクルに出しているが缶までは洗浄が難しい。考えてみる。我が家のビール缶は洗浄している。



桜美園

1日行程の施設見学、勉強って疲れますね。配車してくれた細川さん伊藤さん本当にありがとうございました。男性会員数からの割合からいえば、男性参加数が少なくて残念。分かっているつもりでも改めて気付かされる事も。私達のボランティア活動も意識をもってゴミ収集に当たりたい。

・実はゴミ、山をなしていると思っていたが、どんどん処理されているのですね。日本全国、皆そうなのか。是非、学校の子供さんに全部見て欲しい。物、大事にして九十九神、仲良くしたい。計画して連れて行って下さった皆様に感謝。本当にありがとうございました。

・驚き考えさせられた事は、私達が一括りに「ゴミ」と呼んでいる代物は実は極めて細かい分別分類を経て「ゴミとして処理されている」という実態。今までプラスチック＝合成樹脂と思っていたものも、ごみ処理の世界では、例えばペットボトルとプラスチックは全く別物であり、ペットボトルとそれの巻かれた印刷物は分別されてようやく資源として再利用が可能となるという事実。そしてその為には我々が知らない所で多くの人手が費やされている現実がある。又、清掃工場の巨大なクレーンの動きは感動もの。会員の皆様には機会を



環境事業センター(集積された可燃ゴミ)

捉えて、ご本人は勿論、お子さんやお孫さんを誘って是非一度見学される事をお勧めする。

・どの施設も最終的には人の力、労力が必要で、どれも労働環境として、かなりきついものと感じた。一人ひとりがゴミを減らす、きちんと分別することを心掛けなければならないと思う。町民に施設の現状を知ってもらう必要があると思った。

・見学を終えて二宮へ帰るとき工場や商業施設を通った。これら施設から出るゴミは市の施設では処理されず産業廃棄物で処分されている。もしかすると市民が出すゴミよりももっと大量かもしれない。産業廃棄物のゴミ処理も理解しないと二酸化炭素排出やプラスチックゴミ処理など今の問題を捉えることができないと考えた。

・地球環境は一度破壊すると人間の力ではどうすることもできない。持続可能な発展などありえないと思う。今こそ新しい生き方が求められる。

・川の清掃をしていて、その収集した廃棄物がどのように最終的に処理されるのかを知ることは、大変良い勉強になった。鳥も植物も少ない風景が荒涼としている最終処理場、可燃ゴミがトラックで時間をおかずに運び込まれ焼却されその余熱利用や溶けだした金属片、ペットボトルや缶は人により再分別（汚れやさびを確認し再利用可能かどうか判別）、利用できないものは粉碎し最終処理場に埋め立て。

ウン、リサイクルの言葉は良い響きがありますが、生活の見直しを問われている気がしてしまう。

・これだけの訪問先の調整は大変だったと思います。

企画また運転頂いた皆様にも感謝します。

自分たちで集めたごみのその先を見に行くことで、分別や収集の仕方を再考するという仕組みが素晴らしいと思いました。

かなり盛りだくさんで消化しきれない部分もありました。2回に分けて、訪問先の流れなど事前勉強の時間があるといいのかなとも感じました。

・ゴミはキチンと分別しよう。細かいところまではまだ理解できていないけれど、大体の流れが分かってスッキリ。知ることは大事だと改めて思った。



リサイクルプラザ(リサイクル商品)

## 活動実践集「ホームページ作成と2年目の活動を通して」

湘南工科大学工学部人間環境学科2年 武田 紗季

私は昨年度、1年間葛川をきれいにする会の学生会員として清掃活動に励みました。「今までボランティア活動をやったことが無いため、やってみたい」、「コミュニケーションが苦手なので、活動を通してコミュニケーション能力を向上させたい」という軽い動機でしたが、累計活動時間が終了に近づいていくにつれ、「この活動を1年でやめてしまうのは非常にもったいない、自分にもっとできることがあるのではないか」と感じていました。それから、私はこの会の活動をもう1年続けようと決心しました。2年目を決心してからは、「湘南工科大学担当」に任命していただき、運営側の立場に立つ、という経験をさせていただきました。

しかし、2年目の活動を始める前は具体的な目標が思いつかず、「さらに清掃を通して河川をきれいにしたい」、「さらにコミュニケーション能力を向上させたい」という1年目とあまり変わらない目標を掲げようとしていました。自分でもモヤモヤしていた中、森田先生から助言をいただき、「長らく更新されてなかったホームページをリニューアルする」という大役を引き受けさせていただきました。ホームページは全国誰でも見ることができます。つまりこれは私が1年目に会の大きな課題だと感じていた、「会員の高齢化、後継ぎ問題」を具体的に解決できるチャンスだ、と感じ、日々構想を練り始めました。

当初は、一人でホームページを作ろうとしていました。しかし、完成したのはいいものの、自分であまり納得のいくものができていなかった状態でした。そんな中、大学での社会貢献活動研修会において、他の団体での実習を行っている学生の意見を聞きました。他の団体のホームページはどのようになっているのか、SNSを活用しているのか、などを同じ若者としての意見を聞くことで視野を広げることができました。そこから得たアイデアを定例会で発表しつつ、会の方々の意見を取り入れようという考えが浮かびました。定例会でホームページについての意見を求めた際、自分で思っていたよりたくさんの意見がいただけて嬉しかったです。やはり、ホームページ制作は一人の力だけでは難しいものだと考えさせられました。この意見を聞くという過程が無ければ、ホームページは今の形になっていなかったと思います。

また、ホームページを制作する中で、自分の技術不足が目に見えてわかりました。自分はコンピュータに強いほうだと思っていましたが、全然違いました。まだ世の中には知らないことだらけだなと改めて実感しました。しかし、この制作過程で覚えておいて無駄なことは1つもなかったと思います。社会に出てからも、この経験を活かしたいと思います。

私の不手際で作成を宣言してから出来上がるまでかなりの時間がかかってしまいましたが、会の方々にはご好評をいただき、自分でも満足できるものが仕上がったと思います。しかし、まだ足りない部分がたくさんあるので、補ってあげたいと思います。ホームページ代表として編集させていただいている意識を高く持ち、一人の未来ある若者

として20年もの歴史があるこの団体の魅力を余すことなく伝えられるようなホームページを作り上げたいと思います。

2年目の活動を終えた今、2年間会での活動を行って来て心からよかったと思っています。もともと苦手であったコミュニケーションの楽しさを実感できた、川をきれいにできているという1年目で感じたことはもちろん、人前で意見を言うことができるようになった、というのが大きな成長だと思います。私は今まで人前で自分の意見を言うことが苦手で、人の顔色を伺って発言を遠慮してしまう癖がありました。しかし、清掃毎のCOD検査やホームページ制作などをきっかけに、大勢の前で意見を言うことができるようになっていきました。活動中だけでなく大学の授業中にも、グループワークで率先してリーダーになったり、挙手して発言するなどができるようになりました。今までは人前で意見を言うことに抵抗がありましたが、「せっかく意見を持っているのだから、言わないともったいない」という考えが浮かぶようになりました。私が発言をすると、たくさんの人が意見をくださります。思っていることを心の中にとどめておくより、大勢の前で発言したほうがたくさんの意見をもらえて、良い意見でも厳しい意見でも自分の糧となっていくと考えるようになりました。この活動をしていなかったら、私はずっと自分の殻の中に閉じこもったままだったでしょう。これからもこの経験を生かして、積極的に意見が言える人になっていきたいです。

また、2年目の活動では1年目の活動で参加できなかったイベントなどに参加させていただきました。

底生生物調査では、コイとアメンボくらいしか棲んでいないと思っていた葛川にはたくさんの生物がいるということに驚かされました。

岩をひっくり返すと、ヘビトンボの仲間やアメリカザリガニなどのたくさんの生物が棲んでいました。棲んでいる生物によって水質が分かりますが、ヘビトンボが棲んでいる川はきれいだといわれています。自分の手で生物を獲ると、とても元気に動いていました。たくさんの命が葛川に棲んでいることに大きな感動を覚えました。

生き物観察イベントでは、たくさんの応募者がいたこと、イベントに参加した子供とその保護者が目を輝かせて生き物観察を楽しんでいたことに驚かされました。外遊びの機会が減っている現代ですが、子どもころの経験は将来に大きく影響します。子どもならではの好奇心を刺激し、自然豊かな葛川水域について知ってもらうこのイベントのおかげで将来環境を大切にする意識が身につくと思います。来年度はもっと子どもの力になれるのではないかと思います。また子どもに葛川の自然に親んでもらい、環境保護について深く知ってもらえたら良いなと思います。

この1年間は環境科学センターでの水質調査が行えないなど、新型コロナウイルスの影響でできることが狭まってしまいましたが、非常に多くの経験をさせていただき、大きく成長できた1年間となりました。2年間続けて良かったと心から思っています。

まだコミュニケーション能力などに至らない点が多くありますが、2年間の活動を通して、たくさんのもを得られました。この経験は、自分の中での大きな糧となっていくと思います。

本当にありがとうございました。しかし、2年で終わらせるにはまだ不完全燃焼だと感じています。

また可能な限り活動に参加させていただきたく思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

## ホームページを紹介します

トップページ 梅島について スケジュール ブログ 委員会構成 お問い合わせ



**「梅島に誇りを持」活動**



**「梅川をきれいにする会」のホームページへようこそ!**

2003年設立。神奈川県中部二高町を母体とした団体である梅川地域の環境保全を目的、「梅川をきれいにする会」として、地域に貢献することを日々活動している。

梅川地域の清掃、年4回の外出調査活動、春・秋・夏・冬・お盆などのイベントを行っています。

いざでもホームページ制作中です！(私たちと一緒に取り組んでみませんか？お気軽にお問い合わせください！)

**お知らせ**

- 〇 2020年委員会活動は新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。
- 〇 会員の皆様は2021年3月6日(土)より3日間、各自帰省です。
- 〇 サイトをリニューアルしました。梅川清掃活動のページを新設を追加予定です。

**URL: <http://kuzugawa.sakura.ne.jp/>**

**スマートフォン用QRコード** →



**私たち「梅川をきれいにする会」のホームページを新しくしました！**  
当会の今後の活動予定や、今までの活動をお知らせします。ご自宅のパソコンや、お手持ちのスマートフォンからお気軽に見てください。ブラウザのアドレスバーに上記のURLを入力するか、スマートフォンのカメラで上記のQRコードを読み取ることでアクセスします。  
これからも全力を更新していきます。皆様へのアクセスをお待ちしております！

(学生会員 真田)

# 「葛川をきれいにする会」 会員名簿

2021/5/15

正会員氏名	役職	学生会員	役職	賛助会員
秋沢 久男		武田 紗季	湘南工科大・ 広報担当	石井 修
伊藤 仁	副代表	熊谷 優作	広報担当	井手内 清
遠藤 恒夫				金子 君子
遠藤 道夫				川上 清
長田 信夫	代表 湘南工科大担当			佐藤 準
木部 又一				塩見 勇
関口 純枝				高橋 哲也
竹原 繁男				名川 博久
竹本 洋子				(株)原兼工務店
露木 和子				松岡 史子
飛澤 洋子				本橋 洋
鳥居 仁	会計監査			西山 洋子
奈良 淑子				
西園 治雄				
野谷 悦	事務長 葛川生き物探検担当			
畠山 研				
畠山 尚徹				
藤田 尚志	水質検査			
細川 三男	会計			
政金 驍				
松崎 健				
守田 智恵	エコフェスタ 水質・水生生物担当			
森田 恵	20周年記念 アドバイザー			
門間 光次				
山田 里花				
横山喜代志				
吉川 勇	会計監査			
渡辺真紀子				
28名		2名		12名

# 2021年度 葛川をきれいにする会行事予定10月3回

## 清掃予定

回	通算	月日	曜	集合場所	清掃区域
1	295	4月3日	土	下浜橋	下浜橋～塩海橋 下浜橋～町境
2	296	4月17日	土	前田橋	前田橋～向根橋 向根橋～田端橋
3	297	5月1日	土	前田橋	前田橋～新西谷戸橋
4	298	5月15日	土	清水橋	清水橋～新西谷戸橋
5	299	6月5日	土	葛川橋	軒吉橋～葛川橋 葛川橋～清水橋
6	300	6月19日	土	万年橋	大応寺橋～万年橋 万年橋～軒吉橋
7	301	7月3日	土	新田橋	新田橋～鍛冶屋橋 新田橋～内輪橋 内輪橋～大応寺橋
8	302	7月17日	土	塩海橋	塩海橋～鍛冶屋橋
9	303	9月18日	土	下浜橋	下浜橋～塩海橋 下浜橋～町境
10	304	10月2日	土	前田橋	前田橋～向根橋 向根橋～田端橋
11	305	10月16日	土	清水橋	清水橋～新西谷戸橋
12	306	10月23日	土	葛川橋	軒吉橋～葛川橋 葛川橋～清水橋
13	307	11月6日	土	万年橋	大応寺橋～万年橋 万年橋～軒吉橋
14	308	11月20日	土	新田橋	新田橋～鍛冶屋橋 新田橋～内輪橋 内輪橋～大応寺橋
15	309	3月5日	土	塩海橋	塩海橋～鍛冶屋橋
16	310	3月19日	土	葛川橋	軒吉橋～葛川橋 葛川橋～清水橋

## その他の予定

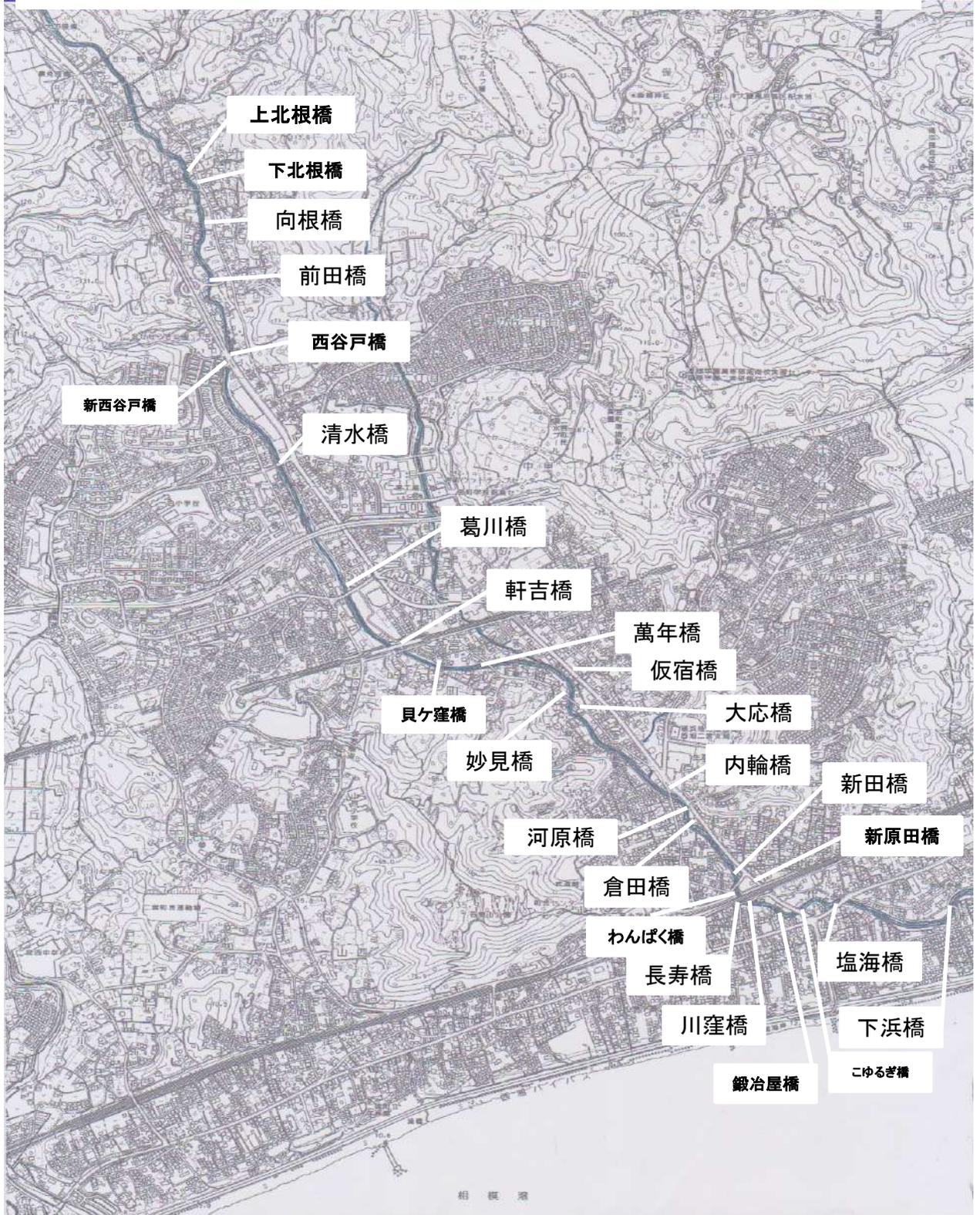
月日	曜	内容
4/10	土	総会
5月	未定	水質調査
5/14 15	金 土	エコフェスタ
5/22	土	葛川に親しむ会1
6/12	土	定例会
8/1	日	葛川に親しむ会2
8月	未定	水質調査
9/11	土	定例会
10/2	土	バーベキュー
11月	未定	水質調査
12/4	土	20周年記念行事
12/11	土	定例会
1/15	土	新年会?
2月	未定	水質調査
3/12	土	定例会

## 関係先

2021年4月1日現在:(順不同・敬称略)

役所・企業名	住所・電話・Fax等	備考
二宮町役場 企画政策課・企画調整班 都市部生活環境課生活環境班	〒253-0196 中郡二宮町二宮 961 電話 0463-71-3311 Fax73-0134 E-mail <a href="mailto:kankyo@town.ninomiya.kanagawa.jp">kankyo@town.ninomiya.kanagawa.jp</a>	課長 安藤好幸 生活環境班山口尚人・ 岡部 裕之 環境政策班山下昌志・ 北川翔
神奈川県平塚土木事務所 河川砂防部河川砂防第一課	〒254-0073 平塚市西八幡 1-3-1. 合同庁舎内 電話 0463-22-2711・内戦 4203 Fax 0463-24-0488(柳下→曾我→山崎→藤井→秋田→ 廣井)	
神奈川県湘南地域 県政総合センター	〒254-0073 平塚市西八幡 1-3-1. 合同庁舎内 電話 0463-22-2711・ Fax.0463-23-0599	
神奈川県環境科学 センター	〒254-0014 平塚市四之宮 1-3-39 電話 0463-24-3311 Fax 24-3300 Eメール・ <a href="mailto:k-center@erc.pref.kanagawa.jp">k-center@erc.pref.kanagawa.jp</a>	田澤 慧 小林 五十嵐恵美子
湘南工科大学 社会貢献活動連絡協議会	〒251-8511 藤沢市辻堂西海岸 1-1-25 電話ダイヤルイン 0466-30- 事務 0272 教務 0274 学生 0278 <a href="mailto:shakou@center.shonan-it.ac.jp">shakou@center.shonan-it.ac.jp</a>	森田 恵
神奈川新聞社	〒231-8445 横浜市中区太田町 2-23 電話 045-227-0001 Fax045-227-0015	
神奈川新聞社・茅ヶ崎	〒253-0052 茅ヶ崎市幸町 20-43-503 電話 0467-87-1612 Fax0467-87-1522	
ASA 二宮	〒259-0131 中郡二宮町中里 988-5 電話 0463-71-1157 Fax0463-71-7488	内田 椎野
㈱タウンニュース社・平塚支社	〒254-0052 平塚市平塚 5-22-15-3F 電話 0463-33-5300 Fax0463-30-1260 E-Mail: <a href="mailto:tn-toyoda@townnews.co.jp">tn-toyoda@townnews.co.jp</a>	豊田 博美
㈱ザ.BIG 二宮店 マックスバリュウ東海㈱	〒259-0134 中郡二宮町一色 1207-1 電話 0463-71-8818 Fax0463-71-8812 〒411-0934 静岡県駿東郡長泉町下長窪 303-1 環境社会貢献部 電話 055-999-2128	
神田交通㈱	〒254-0082 平塚市東豊田 531-37 電話 0463-55-1313 Fax 0463-55-5500	前島庸一郎
湘南ケーブルネットワーク	〒254-0034 平塚市宝町 3 番 1 号平塚 MNビル 10 階 電話 0463-22-1875 Fax0463-22-4710 E-Mail: <a href="mailto:kaz@mx.scn-net.ne.jp">kaz@mx.scn-net.ne.jp</a>	前田薫里
ふるさと炭焼き会	〒259-0132 二宮町緑が丘 2-19-19 ふるさと炭焼き会書記局 08012337601 0463733941 <a href="mailto:lshikawa2199@gmail.com">lshikawa2199@gmail.com</a> 毎月 2.4 水 1.3 日	石川真人

# 葛川(二宮町)にかかるとついた橋



## 葛川をきれいにする会活動概要

団体名	葛川をきれいにする会
代表者名	長田 信夫
連絡先 (電話番号及び E-mail)	080 6585 1949 4danke9schoen_19no@ezweb.ne.jp
会員数	35 名

### 主な活動

- 1 葛川清掃 16 回/年 (2001 年 10 月より 2020 年 11 月で通算 292 回)
- 2 水質検査 4 回/年 (水質改善抵抗の確認と課題の把握)
- 3 魚類・底生生物調査と「葛川生き物観察」年 2 回 (葛川への関心を高める)
- 4 2008 年より湘南工科大社会貢献活動実習生の受け入れ(会員との交流)

### 会員募集情報

- 1 設立 2001 年 10 月 12 日
- 2 主なねらい  
○葛川を蘇らせる  
○誰もが水遊びできる綺麗で安全な川を目指す(親水性を高める)
- 3 活動日 ・葛川清掃 16 回/年  
原則 4 月 5 月 6 月 7 月 9 月 10 月 11 月 3 月の第 1 第 3 土曜日  
・その他 総会 定例会 水質調査 小学生対象に葛川に親しむ会
- 4 会費 2,000 円/年

### 町民の皆さんに

私たちは誰もが水遊びできる葛川を目指して活動しています。  
私たちの活動に参加しませんか？

書記局 野谷 悦(のや まこと)

電話 090 2744 7154/ FAX0463 72 0004

メール [m.noya212@ezweb.ne.jp](mailto:m.noya212@ezweb.ne.jp)